療法

1サイクル_4 週

急性骨髄性白血病(1~2サイクル) 疾患名

古利 内面 内面 内面 内面 内面 内面 内面 内	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
四級 四級 四級 四級 四級 四級 四級 四級	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 24 25 26 27 28 24 25 26 27 28 24 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 25 26 27 28 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 26 27 28 28 26 27 28 27 28 26 27 28
照射部位 照射量 生理食塩液 200 ml 点滴 キーブ () () () () () () () () () (
注射 生理食塩液 200 ml 点滴 キープ プラニセトロン 3 mg 点滴(側管) 30分 デキサート 9.9 mg 15分 生理食塩液 50 ml 15分 生理食塩液 100 ml 50 mg/m 点滴(側管) 30分 生理食塩液 100 ml 点滴(側管) 24時間 生理食塩液 500 ml 点滴(側管) 24時間 生理食塩液 500 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 注射 生理食塩液 50 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 注射 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
注射 1	
注 2 プラニセトロン 3 mg 点滴(側管) 30分	
注 2 プラニセトロン 3 mg 点滴(側管) 30分	
注射 2 デキサート 6.6 mg 点滴(側管) 15分 生理食塩液 50 ml	
注射 2 デキサート 6.6 mg 点滴(側管) 15分 生理食塩液 50 ml	
計 2	
注射 デキサート 6.6 mg 点滴(側管) 15分 生理食塩液 50 ml 一 0	
注射 デキサート 6.6 mg 点滴(側管) 15分 生理食塩液 50 ml 一 0	
射 ジウノマイシン 50 mg/m² 点滴(側管) 30分 生理食塩液 100 ml 注射 キロサイド 100 mg/m² 点滴(側管) 24時間 500 ml 生理食塩液 500 ml 注射 生理食塩液 方の ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 注射 ア	
射 ダウノマイシン 50 mg/m 点滴(側管) 30分 生理食塩液 100 ml 注射 キロサイド 100 mg/m 点滴(側管) 24時間 生理食塩液 500 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 注射 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
対 プロスイシン 50 mg/m 点滴(側管) 30分 生理食塩液 100 ml 点滴(側管) 24時間 年理食塩液 500 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ	
注射	
注射 4 生理食塩液 100 ml ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
注射 4 生理食塩液 100 ml ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
射 * キロサイド 100 mg/m 点滴(側管) 24時間 500 ml 注射 * 生理食塩液 * *** *** *** *** *** *** *** *** ***	
注射 キロサイド 100 mg/m 点滴(側管) 24時間 生理食塩液 500 ml 一・トフラッシュ 注射 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
注射 5 生理食塩液 500 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 注射 7 二	
注射 5 生理食塩液 500 ml 注射 6 注射 50 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 計算 7 注射 8	
注射 5 生理食塩液 500 ml 注射 6 注射 50 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 計算 7 注射 8	
対 2	
注射 生理食塩液 50 ml 点滴(側管) ルートフラッシュ 注射 7 注射 8	
注射 6 注射 7 注射 8	
注射 6 注射 7 注射 8	
注射 注射	
注射 注射	
注 射	
注射	
注射	
注射	
注射	
3	
注	
注 9	
* - -	
注 射	
内服 1	
内服 2	
内服 3	
内服 4	
内服 5	
内服 6	
内服 7	
内服 8	
内服 9	
内服 10	
by Gy	
特記事項 ・第1コースで寛解に到達しない症例については第2コースも同じ治療を施行	

・第1コースで寛解に到達しない症例については第2コースも同じ治療を施行 ・第2コースは原則的にday28以降に開始するが、day14以降で芽球増加が認められれば早期に開始してもよい

減量規定							
薬品名 標準投与量							
標準投与量							
1段階減量							
2段階減量							
3段階減量							